

まちなかのススメ

宮崎大学MAGAZINE

vol.25 2017

「まちなかキャンパス」で
学生と地域の
交流を活発に!!

宮大生の気になる子ちゃん

教職員紹介 清水まさ志(宮崎大学 語学教育センター准教授)

トピックス イベントカレンダー

ディスカバ宮大 宮崎大学教育学部 附属幼稚園・
附属小学校・附属中学校



宮崎市の若草通に、2月1日にオープンした「宮崎大学まちなかキャンパス」。市街地での学びと地域交流の拠点として、今後の展開に期待が集まっています。

まちなかキャンパスが若草通に！

地域活性化への貢献活動の一環として、宮崎市の中心部に、商店街の空き店舗を活用して「まちなかキャンパス」がオープンしました。これまでも宮崎市街地で多くの地域活動を展開してきた宮崎大学。これまで以上に地域の商店街の方や多くの企業人と密に交流を図り、意見を交わすことで、学生や教職員、また県民全体の学びの場となることが期待されています。新キャンパスはどんな場所なのでしょう？ Q&Aでご紹介していきます。

なぜ、若草通にまちなかキャンパスができたの？

⑥ 宮崎大学はこれまで、2010年8月に移転したサテライト・オフィス（宮崎市橋通西3丁目）において、大学広報、高等教育コンソーシアム宮崎の事務局分室としての活動を実施してきましたが、学内外から、まちなかで大学の講義や研究成果の発表を行いたい、行つてほしいとの要望がありました。そのような中、宮崎県や宮崎市からも宮崎大学がまちなかに拠点を置くことで、学生と地域住民や社会人等との交流が活発になるなど、地域活性化に貢献していただきた

いとの要望も上がっていました。宮崎大学の理念「地域社会の学術・文化の発展と住民の福利に貢献する」とも合致したため、若草通商店街に「宮崎大学まちなかキャンパス」を設置することが決定しました。宮崎大学と「まちなか」との連携については、学生や教職員が「まちなかキャンパス」を拠点に教育・研究活動を行うことにより、地域の方や企業、行政との交流を活性化し、本学の教育・研究成果の発信や地域活性化、企業や行政との連携強化に繋がってきたいと考えています。

1月31日にはオープニングセレモニー

が行われ、池ノ上克学長が挨拶。河野俊嗣宮崎県知事も列席し、華々しくテープカットが行われました。



オープニングセレモニー

どんなことができるの？

⑧ 各種セミナーや会議、読書や勉強、雑談など、営利及び政治・宗教活動を目的としたもの及び公序良俗に反するもの以外のことについては実施可能となっております。ただし、各種セミナーや会議等のイベントにつ



これからの展開は？

⑧ まちなかキャンパスでは、宮崎大学で実施している公開講座や学び直し講座、企業からの技術相談、高校生・社会人・地域住民との交流の場など、宮崎大学で実施している取組の一部を実施していく予定です。現時点では、本学学生を対象とした授業やゼミの予定はありませんが、今後、そのようなことも実施していきたいと考えております。

今後のビジョンについては、商店街や行政などさまざまな方々から支援を受けながら、宮崎を盛り上げていき、学生が学びの場である地域の役に立ち、大学と地域や行政が交流することで地方創生につながる場所になればと考えています。

中はどんな雰囲気？

⑧ テーブルは既肥杉を使用し、ディスプレイ棚は農学部附属フィールド科学教育研究センター・田野フィールド（演習林）の檜を使用し、工学部ものづくり教育実践センターで作製した純宮崎大学産のものとなっています。それぞれ木の香りを感ずることができ、落ち着ける空間となっています。備品はプロジェクターやスクリーン、メモ台付きいす、会議テーブルがあり、さまざまなレイアウトが可能です。用途に応じて使用することができます。

まちなかのススメ

まちなかキャンパス 施設概要

宮崎市橋通東3-4-36 村武ビル1階
TEL 0985-55-0553
開館時間 / 11:00~18:00
休館 / 12/28~1/4、臨時休館あり



詳しい内容はHPでチェック！

宮崎 まちなかキャンパス 検索

ここをクリック



まちなかで活動する大学生に話を聞きました！



宮崎大学教育文化学部4年 平川萌々子さん
街市にて、ホワイトボードに案内を書くのも学生の担当

宮崎市一番街で毎月第4土曜に開催されている「街市」に、一昨年から学生ボランティアとして携わっている平川さんにお話を聞きました。「以前は、宮崎出身でも宮崎のことが好きになれませんでした。宮崎のことをもっと知りたいと思って、とりあえず1回だけ先輩に教えてもらった街市に参加しました。仕事は準備・片づけやアンケート調査など、出店者さんの手伝いでお店にも立ちます。ここでは、若い人の意見が求められていると感じました。たくさんの時間がある大学時代に多くの街の人と話せて、宮崎についてみんなが真剣に考えていると知れたことは財産だと思います。街市は今後、後輩2人が関わってくれることになりました。まちなかキャンパスができて、より良い環境となった宮崎大学の活動をこれからも応援したいです」



YouTubeで学生たちの
動画作品を公開中!

<https://www.youtube.com/channel/UCihajdz5AJA-8SyjIUOKc1g>

教職員紹介

『悪の華』からフランス文学研究へ。 授業では学生がフランス語圏に宮崎をPR!

フランス文学が専門の清水まさ志先生。中学時代に読んだのが、フランスの詩人ボードレールの『悪の華』だった。「世界の近代詩の歴史を変えたといわれ、日本にも影響を与えた詩集です。最初に翻訳で読んだときに1行も分からなくて。何とか分かるようになりたいというところから研究にのめりこみました」。

大学院在学中に5年間、フランスに留学し、博士論文をまとめた。地元のフランス人家族と過ごす中で、もてなし方に感銘を受けた。「フランスは人と楽しい時間を分かち合うために衣食住の文化を発展させ

てきました。そして生活の中に芸術が息づいていて、あるときは美術館のようなお宅にお邪魔しました。そこで食卓を囲んで話をし、初めてフランス文化の全体像が見えた気がします」と振り返る。さらに「もてなしに奥様が一番美しく輝いて見える。フランスでは大人の女性が輝いているという印象を持つと思います。日本は子どもに合わせたカワイイの文化です」と文化の違いも実感したという。

宮崎で暮らして3年目になる。「パリは、外から訪れた芸術家たちがアピールしたことでも国際的に有名になった。僕は富山出

身です。だからこそ、宮崎の良さをアピールするのが自分の使命かもしれないと思います。フランス語の授業では学生たちが宮崎をアピールする動画をつくっています。3月末にはベルギーで行われる日本週間に合わせて、協定校のリエージュ大学で学生と宮崎をPRしていきます!」



宮崎大学
語学教育センター
准教授
清水まさ志
専門分野: フランス文学・
フランス語教育

5月・6月開講 公開講座

神話と宮崎

全3回
¥2,000

- ◆日程: 5/11, 6/14, 7/12
- ◆時間: 14:50~16:20
- ◆開催場所: 宮崎大学木花キャンパス
330記念交流会館コンベンションルーム
- ◆講師: 教育学部 教授 山田利博
宮崎市神話・観光ボランティア協議会 会長 湯川英男

日南開催

観光客受け入れのための中国語講座

全6回
¥3,000

- ◆日程: 5/15, 5/29, 6/12, 6/26, 7/10, 7/24
- ◆時間: 18:20~19:50
- ◆開催場所: 宮崎大学・日南デスク
(日南市岩崎3丁目 創客創人センター内)
- ◆講師: 語学教育センター 教授 藤井久美子

源氏物語 ~梅枝巻を読む~

全7回
¥3,000

- ◆日程: 5/13, 5/20, 6/3, 6/17, 7/1, 7/22, 7/29
- ◆時間: 14:00~15:30
- ◆開催場所: 宮崎大学木花キャンパス
330記念交流会館コンベンションルーム
- ◆講師: 教育学部 教授 山田利博

まちなかキャンパス開催

外国語の響きに触れてみよう 歌う外国語講座

全6回
¥1,000

- ◆日程: 6/14, 6/28, 7/12, 7/26, 8/9, 8/23
- ◆時間: 18:30~20:30
- ◆開催場所: まちなかキャンパス (宮崎市橋通東3丁目 若草通内)
- ◆講師: 語学教育センター 准教授 胡屋武志
語学教育センター 准教授 清水まさ志
語学教育センター 准教授 山本佳代
語学教育センター 教授 藤井久美子
語学教育センター 准教授 金 智賢

お申し込み・お問い合わせ

宮崎大学 産学・地域連携センター

TEL 0985-58-7188

宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

10:00~16:00(土日祝除く)
E-mail: m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

宮大生の

気になる子ちゃん



今回は、みやだいもうくんについてご紹介します! もうくんとインタビューは広報・渉外課の方に通訳していただき、実現しました! 公式プロフィールにもまだ載っていない情報も聞き出せたのでこちらでも紹介します。

Q1 もうくんの名前の由来は?

University Of Miyazakiの頭文字「UOM」を逆から読んで「MOU(もう)」! それだけでなくこの発音が牛の鳴き声にも似ているから

Q2 もうくんのチャームポイントは何?

南国宮崎の輝く太陽の日差しをいっぱい浴びて、うっすらオレンジ色に染まった体。それからしっぽのヤシの木と顔に組み込まれた「MOU」の文字。

Q3 もうくんの好きなことは?

日曜日! 子どもと遊ぶのんびり散歩。

Q4 もうくんの特技は?

ほんわかオーラで、いつの間にかみんなを和ませてしまうこと!

Q5 もうくんの好きな場所は?

牧場、屋上、大学の食堂

宮崎大学
オリジナルキャラクター
みやだいもうくん
に聞きました!!

緑の部分で
MOUとなる

Q6 もうくんの身長・体重は?

身長は完熟マンゴー約10個分
体重は完熟マンゴー約250個分

Q7 もうくんをイベントに招待したいときはどうすればいい?

宮崎大学の広報・渉外課に問い合わせてください。宮崎大学が主催しているイベントであればもしかしたら来てくれるかも...笑

Q8 今後の展望・野望は?

学生だけでなく県民の皆さんに愛されるように精進し、野望は、ゆるキャラグランプリのトップを目指す!!

もうくん
お散歩中

私たちと一緒に大学の広報活動に関わってみませんか?
メンバー募集中です!!
興味のある方は...下記まで

広報・渉外課 宮崎大学木花キャンパス事務局棟4階
TEL: 0985-58-7114
メール: kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

学生広報
スタッフ
募集中

今回の「気になる子ちゃん」はいかがでしたか? 撮影の数分の間でも、学生さんが寄ってきてかなり人気者だなと実感しました! 県民の皆さんに愛されるキャラになってほしいと心から思っています! またアンケートを取ってもらいたいテーマや、あなたの気になっていることがあれば、左記のアドレスまでメールしてください!



トピックス



「金融リテラシー講座」の開講

「たくさんの 投資を受けて 今がある」
2月20日から4日間、基礎教育科目集中講義「金融リテラシー講座 ―金融に関する知識・判断力を高め、遅しく賢く生きる力を持つよう!―」(2単位)を開講した。これは、宮崎県金融広報委員会の全面的な協力の下、基本的な金融経済知識だけでなく、県の施策やライフデザイン、ライフプランの策定から身近な「お金」のつかい方等、金融リテラシーについて、様々な側面から講義するもので、金融関係団体による連携講座としては、地方で企画した初めてのものとなった。

講義では、小池光一氏(宮崎銀行会長)や永山英也氏(宮崎県総合政策部長)による基調講演をはじめ、金融関係各界の著名な講師陣が多角的なテーマで

15回の授業を行った。特に最終の統括講義では、それまでの14回の講義で得た知識を盛り込んだ川柳発表会が和やかな雰囲気で行われ、発表された作品の中から冒頭の句が最優秀作品に選ばれた。この句は、これまで保護者や社会から数多くの支援を受けてきたからこそ、こうやって、今大学で学んでいる自分がここにある、とこれまでの感謝の気持ちを詠んだもので、この講義のねらいのひとつである「保護者への感謝」にも合致するものとなった。

また、この講義は、一般市民にも広く開放し、教育関係者、金融関係者、地元の方々等84名から受講申込みがあり、本学学生251名と合わせ335名が席を並べて受講した。講義初日には、テレビ局3社をはじめ、多くの新聞社、通信社が取材に訪れるなど、関心の高い講義となった。

西都市における連携事業年次報告会を実施

2月24日(金)、『平成28年度「西都・妻湯プロジェクト」・「宮大COC地域活性化ワーキンググループ」合同年次報告会』を実施した。押川修一郎西都市長、堀江勝人日南グループ代表並びに池ノ上克学長をはじめ約50名が参加した。

本報告会は、平成28年度に西都市及び株式会社日南(本社:神奈川県)と連携し、西都市における温泉を活用した地域活性化のための産学・地域連携事業の進捗状況並びに平成25年度より続けてきたCOC事業の報告等を行うもの。

「西都・妻湯プロジェクト」においては、温泉を活用した地域コミュニティ振興に関する研究や温泉水を利用した農水産業の栽培・養殖に関する研究など、6つの研究テーマについて報告があり、「宮大COC地域活性化ワーキンググループ」からは西都のユズを生かした新たな加工品開発に関する報告が行われた。中でも、学生グループからは「古墳を肌で感じることのできる岩盤浴」や「地元食材を堪能できる足湯カフェ」などのユニークな提案がなされた。

また、本学独自の予算で学生へのチャレンジを後押しする「とっても元気!



工学部国際教育センターが留学生に日本の文化を体験

工学部国際教育センターは、茶道・着物体験をする校外学習を計画し、その学習に宮崎大学に在籍する留学生(インドネシア、モロッコ、スリランカ出身)12名と工学部日本人学生3名が参加した。2月の穏やかな午後、木花キャンパスからほど近い双石庵(そうせきあん)を訪れた学生たちのほとんどは茶道体験が初めてとあり、日本庭園に設えられた蹲や手水鉢で手を洗うところから驚きの表情を浮かべ、囲炉裏と茶釜で十分に温められた茶室で日本間を見学しながら茶道に関する説明

宮大チャレンジ・プログラム」では、日本人学生と外国人留学生が「西都古墳祭り」において、企画段階から運営に携わり、それらの活動を通じて地域の魅力を再発見するとともに、多言語PRビデオを作成した取組が報告された。

押川修一郎西都市長からは、「地域活性化や移住促進の取組みを実施しており、地域資源を活性化・活用することが重要、そのために産学官の円滑な連携が大事である」と述べられ、堀江日南グループ代表からは「10年でも20年でも続けられる限りは(いい成果がでるまで)継続していきたい」と、強い意志が述べられた。本学では、県内各地の市町村と連携事業を実施しており、これまで以上に、地域に根ざした連携事業を推進していくとしている。また、平成28年度からは「地域資源創成学部」を新たに設置。学生と教職員が融合しながら地域との連携事業に携わり、活力のある地域を創成できる人材を育成していくこととしている。



トピックス

本学初!企業の寄附を原資とする新講座の設置について ～米良電機産業株式会社の寄附による『地域デザイン講座』～

11月21日(月)、米良電機産業株式会社(宮崎県宮崎市)から5年総額1億5千万円の寄附を受けて、地域イノベーション創出を目指す新たな寄附講座「地域デザイン講座」を設置する。本学における私企業による寄附講座の開設は今回が初。

開設日は平成29年4月1日で、広く県内ものづくり企業に貢献できる講座を目指す。そのため、製品化プロセスを熟知した企業OBをはじめ、環境工学系教員、コーディネーター、事務スタッフの4名を新たに雇用し、本学の全学組織「産学・地域連携センター」の下に設置する。



当講座では、新興国の製造業が台頭する中で、ものづくり企業の製品開発における発想やデザイン、企業会計といった「実用化のコアプロセス」にフォーカスをあて、社会人学び直しなどの人材育成活動や、企業と大学とのマッチング活動などを行う。さらに、宮崎県の新たな産学連携交流のシンボル「発想のまち～新たな発見、そして応用・飛躍に繋げる場」をコンセプトに、木花キャンパス内に新たな産学連携交流拠点を整備し、大学の資源と民間活力を融合した先導的な地域イノベーションの創出・地域活性化を目指すこととしている。



COC/COC+合同シンポジウム IN 日向市 2016

11月23日(水)、日向市においてCOC/COC+合同シンポジウム IN 日向市 2016を開催した。地域と大学のつながりで宮崎を元気に!というテーマのもと、日向市内外から194名が参加した。基調講演では、日向市立図書館長・緒方博文氏が「天領気質と藩領気質～日向市・入郷地域の場合～」について講演した。その後、日向市と宮崎大学の連携事業についての事例発表を行った。この発表では、今年度実施された地域学入門Ⅱの学生よ



り、美々津地区の現地調査の発表が行われた。パネルディスカッションでは、それぞれの立場から考える地域活性化について熱く意見が交わされた。また、客席からも意見が出され、様々な角度から地域や若者、教育などについて会場全体で考察を深めることができた。最後に、地域活性化・学生マイスター初級の表彰式が行われ、学生3名にマイスター初級を授与した。

交流会では、日向橘ひよつとこ踊り保存会の方々に加え、本学の学生、留学生がひよつとこ踊りを披露して、本会を盛会裏に終えることができた。

日機装株式会社と共同研究包括連携協定を締結

本学と日機装株式会社は、11月28日(月)に、新技術の共同開発研究によるイノベーションの創出ならびに共同開発研究を通じた人材育成等を目的として、共同研究包括連携協定を締結した。

本協定のもと、相互のシーズ及びニーズのマッチングを様々な学際領域で行い、新たな技術・商品等の開発に資する複数の共同研究を展開し、本学発のイノベーションを国内外に発信するとともに、これらの共同研究に学生を参画させることで、イノベーション創出人材の育成にも取り組む予定である。

また、本協定では、第1号事案(第1号共同研究)として、「深紫外線LEDを利



用した殺菌装置の開発」を本学医学部と日機装(株)とで実施することになっている。

今後は、産学・地域連携センターがコーディネートし、両者のシーズとニーズのマッチングを図ると共に、共同研究課題に関するミーティングを適宜開催するなどし、これまで以上に、実用化に近い共同研究の拡充・活性化を目指すつもりである。



まちなかキャンパスをリニューアルオープン!

1月31日(火)、「宮崎大学まちなかキャンパス 高等教育コンソーシアム宮崎事務局分室」を開設したことに伴い、「オープニングセレモニー」を挙行し、池ノ上克学長をはじめ、約80名が出席した。同キャンパスは、「社会変革のエンジン」として、地域活性化の中核的拠点の旗手を鮮明にし、地域創成や地域産業の振興などを地域の実情を踏まえた取組みをより一層推進するため、地域連携活動拠点及び街興しのフィールドとして、「宮崎大学まちなかキャンパス」を新たに設置した。また、同



食べて知ろう! 宮崎伝統野菜講演会

2月7日(火)、宮崎大学学食にて「食べて知ろう! 宮崎伝統野菜講演会」を開催した。伝統野菜を多くの方に知ってもらうということを目的に、4名の方が講演された。

ただ講演を聞くだけでは、理解できないのでは?ということで、公演中に宮崎の伝統野菜を提供し、参加者の方々には試食をしながら講演を聞いていただく新しいスタイルに挑戦した。

今回は試食として、期間限定で学食販売されている宮崎伝統野菜メニュー等を少しずつ召し上がってもらい、約1時間の講演会で、学生、教職員、県内自

キャンパスに「高等教育コンソーシアム宮崎」事務局分室も設置し、県内の11高等教育機関の学生や県内企業及び高校生が交流する場、県内の産学官が連携を深める拠点としての活用も期待される。

セレモニーでは、池ノ上学長が「商店街や行政などさまざまな方々から支援をもらいながら、宮崎を盛り上げていきたい。学生が学びの場である地域の役に立ち、大学と地域や行政が交流することで地方創生につながる場所になれば」と挨拶した。引き続き、池ノ上学長らによるテープカットが行われ、同キャンパスの開設を祝った。なお、セレモニー終了後には、河野宮崎県知事らとの施設内見学、地域資源創成学部の土屋講師によるキックオフイベントが行われた。



治体の方々の他に、大学近辺にお住まいの地域の方々など、約80名が参加した。

講演会後の伝統野菜、地域特産品販売にもたくさんの方々にお集まっていただき、大盛況となった。



EVENT CALENDAR

※日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。

イベントカレンダー

地域情報サイト「パームズまいふれ」 <http://miyazaki.mypl.net/>

地域情報サイト「パームズまいふれ」でも、地域一般の方々を対象とした公開講座や講演会等のイベント情報を発信しています。



まいふれ
Powered by Palms

公開講座	【問合せ先】産学・地域連携課 TEL:0985-58-7188
入門フランス語フランス文化(3)	日 時 5月13日(土)～9月16日(土) 計8回 場 所 教育学部L105 対 象 者 一般・本学学生(20名)
朗読で味わいを深める日本文学 ～牧水短歌の力動を読む～	日 時 7月1日(土) 場 所 まちなかキャンパス (宮崎市橋通東3丁目内) 対 象 者 高校生以上(30名)
海を知る2017 ～身近な海の動物に触れ、 その神秘性を実感する～	日 時 7月8日(土)～9月16日(土) 計5回 場 所 延岡市社会教育センター 宮崎大学延岡フィールド 対 象 者 高校生以上(40名)
住吉フィールド(牧場) ～牛とのふれあい牧場体験～	日 時 7月26日(水)・8月23日(水) 計2回 場 所 農学部住吉フィールド 対 象 者 小学生(各回10名)
高校生のための実験講座 ～太陽光パネルを作ろう～	日 時 7月29日(土)・30日(日) 計2回 場 所 工学部D棟2F(D204) 対 象 者 高校生(10名)

イベント

入学式	日 時 4月3日(月)
総務課 ☎ 0985-58-2854	場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート コンベンションセンター
きよかさい 清花祭(大学祭)	日 時 11月17日(金)～19日(日)
学生生活支援課 ☎ 0985-58-7135	場 所 木花キャンパス・清武キャンパス
第7回 ホームカミングデイ	卒業生の皆様に「母校宮崎大学」に集い、母校の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との交流親睦を深めていただくために、大学が卒業生の皆様をお招きするものです
広報・渉外課 ☎ 0985-58-7114	日 時 未定 場 所 木花キャンパス

イブニングセミナー

研究推進課
☎ 0985-58-2882

教育・研究の成果を発表するイブニングセミナーを開催しています。
※詳しくはHPをご覧ください。



宮崎大学教育学部

附属幼稚園・附属小学校 附属中学校



専門的な研究の成果を生かした 教育活動を行っています。



宮崎大学教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。附属学校園では幼・小・中の連携教育により、子どもの個性を尊重し、伸ばす全人的な教育を行います。

宮崎大学教育学部附属幼稚園

附属幼稚園は昭和42年に開設され、平成29年度に創立50周年を迎えます。「生き生きと活動できる子どもを育てる」という教育目標のもと、子どもの自発的な活動を重視しながら、人とかかわりを大切に保育をしています。



2017年3月

幼稚園の特徴は？

広々とした園庭には、数十年を経過した銀杏や楠等が大きな枝を広げ、四季折々の豊かな自然環境を日々の保育に生かしています。好きな遊びを十分に楽しみ、「みんなで一緒に」の時間には、歌を歌ったり、紙芝居を見たり、ゲームをしたり、一日の話をしたり、翌日の計画を話し合ったり、先生の話の聞いたりします。

2017年3月

学級数・児童数 5学級 106名

宮崎市船塚1-1 TEL 0985-24-6707 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/fuyou/>

／ 園庭に遊びに来られませんか ／

毎月、園庭を開放する日を設けています。期日はHPでご確認ください。時間は13:45～15:00です。必ず保護者同伴で、附属幼稚園以外の方は、当日、事務室で受付をしてください。雨天時は中止、ほかに急な変更が入る場合があるので事前に確認をお願いします。



宮崎大学教育学部附属小学校

附属小学校は明治26年、宮崎県尋常師範学校附属小学校として設立されました。「ともだちいっぱい あせいっぱい まなびいっぱい(社会の変化に自ら対応することができる豊かな心をもった児童の育成)」を学校の教育目標に掲げ、一人一人の個性を大事にしながら、社会の変化に自ら対応できる豊かな心をもった子どもを育成しています。



小学校の特徴は？

附属小学校の児童たちは「強く 元気に 高く」伸びてほしいという願いを込めて「ささの葉っ子」と呼んでいます。毎日の清掃の時間は1年生から6年生まで縦割り班を編成し、上級生がリーダーとなって10分間の無言清掃を行う伝統があります。正門のすぐ横に空襲で集団下校中に命を落とした先輩方を供養する「いとこの供養碑」があり、清掃や花の世話に取り組んでいます。毎年5月の集会では遺族の方のお話を聞き、命の大切さについて考える場となっています。

学級数・児童数 21学級 611名 (特別支援学級 3学級を含む)

宮崎市花殿町7-49 TEL 0985-24-6706 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/fes/>

宮崎大学教育学部附属中学校

附属中学校は、昭和22年、宮崎師範学校の附属中学校として開設されました。「気品を保ち、社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな生徒の育成」を学校の目標とし、「1.自発的に学び、真理を探究しよう 2.勤労を愛し、お互いに協力しよう 3.気品を保ち、健康を増進しよう」を細目として掲げ、活力ある学校づくりを進めています。



中学校の特徴は？

授業においても、生活習慣においても、生徒たちの自主性を重んじています。大学から講師を招いての指導や、小中合同授業・小学校乗り入れ授業などが組まれているのも特徴です。全校生徒が一つになる体育大会、橘祭(文化祭)やその一環で行われる合唱コンクール等、時代とともに、形は変わりながらも、先輩から後輩へと受け継がれ、良き伝統となっています。

2017年3月

学級数・児童数 15学級 487名 (特別支援学級 3学級を含む)

宮崎市花殿町7-49 TEL 0985-25-1122 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/jhs/>

広告

Advertising Production Services

有限会社 ナップ「伝えたい」を「カタチ」に!

横断幕・懸垂幕 お任せください!

宮崎市東大淀1丁目1番41号
tel.0985-51-7409

HP <http://www.m-nap.com/>
E-mail pro@m-nap.com



屋外用ターボリン応援幕



屋外用ターボリン横断幕



店舗ブース会見幕



色々な素材のカットが可能な
コングスバグを完備

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学メールマガジン

毎月1回、イベント情報や最新ニュースなどを紹介するメールマガジンを無料配信しております。登録方法はホームページをご覧ください。



宮崎大学 facebook

大学公式のページを公開しております。みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。



宮崎大学公式YouTubeチャンネル

宮崎大学インターネット放送局 Myaoh.TVをYouTubeに配信しています。チェックしてください。



宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2017 vol.25 [発行日] 平成29年3月31日
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行] 国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114
[印刷] 北一株式会社

本誌を読んでものご感想などご自由にメールでお寄せ下さい。✉ kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。
バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。



宮崎大学HP



大豆油を主成分としたインキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。